

## 競技注意事項

1. 規則 競技は2020年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び本大会要項、申し合わせ事項による。  
なお、2020年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則162条5項の適用はしない。
2. 練習 ①練習は競技場周辺及び競技場内のあいているところで安全に注意して行う。  
②フィールド競技の練習は、競技開始前に審判の指示により競技場内において行う。  
③競技場内での練習は、競技開始15分前まで使用してよい。
3. 競技場・ピンの長さ及びシューズについて  
①この競技場は、全天候型の競技場である。  
②スパイクピンは、9mm以下の使用を厳守すること。ただし、走高跳の場合は12mm以下とする。  
③シューズ（スパイク・ランニングシューズ含む）の靴底（ソール）全体の厚さは以下の通り。  
トラック種目：800m未満の種目は20mm以内、800m以上の種目は25mm以内  
800m以上の長距離種目に出場する選手は、両日とも招集所においてレースに使用するシューズの確認を行う。また25mm以上の厚底シューズを使用する場合は、申告書を必ず招集所に提出する。
4. 招集 ①点呼はトラック競技はスタート地点、フィールド競技は各競技場所とする。  
②点呼は、次の方法で行う。  
トラック競技出場者は点呼時間前に招集所において、腰レーンナンバーを受け取る。その後スタート地点へ移動し、点呼前に右腰や後側につける。フィールド競技出場者は、点呼時間前に各競技場所に移動し点呼を受ける。  
招集開始・完了時刻  

	招集開始時刻	招集終了時刻
トラック種目	競技開始20分前	競技開始10分前
フィールド種目	競技開始40分前	競技開始30分前

  
③点呼を受けない競技者・点呼に遅れた競技者は棄権とみなし、競技への出場を認めない。  
④点呼は必ず本人が受ける。ただし、トラック種目とフィールド種目に出場する選手で、同時刻に重複した場合は、当該種目の審判にその旨を伝え、了承を得てトラック種目を優先して行う。  
なお、走幅跳・砲丸投については正規の試技を認めるが、走高跳については、時間の関係上、パス扱いとし、戻ってきた高さからの試技を認める。なお、トラック種目終了後速やかに戻らない場合は棄権とみなし、その後の試技は認めない。
5. 退場 ①トラック競技、フィールド競技とも、終了後は各競技の妨げとならないよう十分注意して自校の待機場所に戻る。こと。（スタンド両脇の階段を利用する）なお、トラック競技出場者は腰レーンナンバーを招集所に返却してから戻ること。  
②退場の際には、トラックを横切ったり、決勝審判台の前を通過しないこと。必ずスタンドの階段を使って移動すること。
6. 決勝進出について  
トラック種目は全競技、全種目決勝タイムレースで行う。フィールド種目（走幅跳・砲丸投・円盤投・やり投）の決勝は予選記録上位8名で行う。なおその試技順は予選記録下位の者からとする。
7. アスリートビブス  
①アスリートビブスは中・高校生とも今年度専門部登録のものを使用する。  
②アスリートビブスは胸（腹ではない）と背にしわにならないように伸ばして四隅をしっかりとつける。ただし、跳躍競技は胸または背の一方をはずして競技してもよい。  
③トラック競技については、招集所において渡された腰レーンナンバーを右腰後部につける。（ただし、リレー競技は第4走者のみとする）

8. 走高跳の最初の高さとのバーの上げ方

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後 審判長判断 による
中学男子走高跳	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	
中学女子走高跳	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	
一高男子走高跳	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	
一高女子走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	

\* 第1位に関わる競技者が同記録の場合は、第1位決定のためのバーの上げまたは下げる範囲は2cmとする。

9. ハードルの高さ及びインターバル

	距離	第1ハードルまで	インターバル	高さ
中学男子	110m	13.72m	9.14m	0.914m
中学女子	100m	13.00m	8.00m	0.762m
高校男子	110m	13.72m	9.14m	0.990m
高校女子	100m	13.00m	8.50m	0.840m

10. 投てき物の重さについて

本大会での投てき物の重量は以下の通りとする。

	中学男子	中学女子	高校男子	高校女子
砲丸	5kg	2.72kg	6kg	4kg
円盤			1.75kg	1kg
やり			800g	600g

11. スタートについて

- ①不正スタートした競技者はすべて失格となる。なお、2020年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則162条5項の適用はしない。不適切行為については注意にとどめる。
- ②中学男女の800m、高校女子の800mについては、セパレートレーンを利用したスタートとする。
- ③中学男子、高校女子の3000m、高校男子の5000mにおいてはグループスタートを採用する。その際、各組のおよそ3分の2までが内側スタート、残りが外側スタートとする。なお、スタート10m以内には内側外側を分ける縁石は置かない。

12. リレー競技

- ①リレーに出場するチームは、同一ユニホーム着用が望ましい。
- ②リレー出場チームは、競技開始1時間前までにオーダー用紙（1部）を必ず提出すること。なお、棄権するチームは招集所に申し出ること。また、オーダー用紙は招集所に用意してあります。

13. 計時

本大会のトラック競技は全競技、全種目とも写真判定装置を使用し、記録を計時する。  
（記録はすべて1/100秒単位となる）

14. 用器具

器具は競技場備え付けのものを使用する。

15. その他

- ①選手は服装を正し、見苦しくない服装で競技を行うこと。
- ②応援席、トイレ等競技場内の使用は清潔・整頓につとめること。
- ③ゴミはすべて自分たちで持ち帰り、競技場内には一切置き去りにしないこと。
- ④貴重品の管理は各校で確実に行うこと。
- ⑤応援等のため、トラック・フィールド内に立ち入ったり、スタート後方、ゴール前方に出ないこと。
- ⑥スタート合図がかかったら静かにし、選手のスタートの妨げにならないように注意すること。
- ⑦選手及び応援生徒の野球場ならびに体育館への出入りを禁止する。
- ⑧競技中等のケガは大会本部で応急処置を受けて下さい。ただし、以後の責任は自己において行い、主催者は責任を負わないものとする。
- ⑨各種目3位以内に入賞した選手には、賞状・メダルを授与するが、感染症対策として表彰式は行わない。各学校の顧問の先生が持ち帰ってください。
- ⑩蜜を避けるために記録は掲示しません。上位入賞者のみアナウンスで紹介し、記録については大会終了後野田市陸上競技協会ホームページに掲載するので、参照してください。